



嫁入りの 庭の 地図



仙台駅から車で約20分のところにある沖野地区。

「嫁入りの庭」は、荒浜の海と田畑を背に、住宅地を眺めるように建つ「社会福祉法人ライフの学校」の前にあります。老人ホームに入居する方と一緒に、かつての「嫁入り道具」のようにやってきた家具や植木、まちの片隅に眠っていた懐かしい道具などが運ばれてきた庭です。

誰かの物語や土地の記憶が集まり、交差する庭。散歩や下校中の道草に、ぜひここで時間を過ごしてください。



嫁入りの庭の地図

仙台駅から車で約20分のところにある沖野地区。「嫁入りの庭」は、荒浜の海と田畑を背に、住宅地を眺めるように建つ「社会福祉法人ライフの学校」の前にあります。老人ホームに同居する方と一緒に、かつての「嫁入り道具」のようにやってきた家具や植木、まちの片隅に眠っていた懐かしい道具などが運ばれてきた庭です。

誰かの物語や土地の記憶が集まり、交差する庭。散歩や下校中の道草に、ぜひここで時間を過ごしてください。



庭をつくった人たち

「嫁入りの庭」は、このメンバーでまちの歴史を調べ、歩き、話し合いを重ねて2020年4月に誕生しました。庭に完成はありません。いまま新たな「もの」がやってきて、植物が育ち、鳥が実を運び、毎日動いています。

設計



tomito architecture

トミトアーキテクチャ 富永美保+林恭正

2014年に設立した、神奈川県横浜市にある建築設計事務所。大切にしているのは、日常を観察して、さまざまな関係性の網の目のなかで建築を考えること。小さな住宅から公共建築、パブリックスペースまで、土地の物語に組み込まれるような、多様な居場所づくりを行っています。

施工



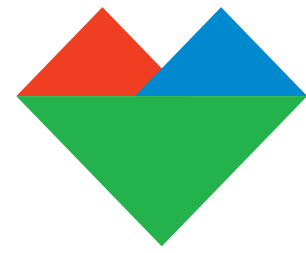
Atelier Amuni!

アトリエ アムニー！

仙台市若林区にある、2008年創業のランドスケープ会社。代表は飯沼伸久さん。「嫁入りの庭」は、地域とのつながりを大切に施工しました。その土地にあったかたちで季節の移ろいを感じる庭づくりをしています。

まちの人々

ライフの学校に同居している方とそのご家族、職員、町内会やおやじ会の方、市民センターや地域包括センターの方などと一緒に「どんな庭があったらいいか？」について話しあいました。まち歩きをしたり、嫁入りする「もの」と一緒に運んだり、野菜を育てたり……たくさんの方がかわっています。



社会福祉法人 ライフの学校

日々のケアのなかには、「いのち」や「暮らし」や「生きる」についてのたくさんの学びがあります。

この学びをたくさんの人と分かちあいたい。そう思ったわたしたちは、福祉施設を地域にひらき、学びあいの拠点にすることにしました。それが「ライフの学校」です。

日々、人生の先輩である高齢者や障がいのある方との対話から「いのち」や「生きる」が学べます。週末には、子どもをはじめ地域の人たちが参加する「暮らし」を学ぶプログラムがあります。

支えあって学びあうって、楽しい。そのことに気づいていくことで、人と人とがやさしく支えあえる社会にしていきたいと思っています。

2006年に設立したライフの学校(2020年名称変更)には、さまざまな人がともにいることができる4つのキャンパスと畑があります。ここでは、いつでも同居している人生の先輩や職員と話したり、図書館やカフェで自分の時間を過ごしたりすることができます。週末には、看取りや地域の伝統食などについての講座が開かれることも。詳しくは、ウェブサイトなどをご覧ください！

萩の風キャンパス

- ・特別養護老人ホーム 萩の風
- ・萩の風デイサービスセンター
- ・地域密着型特別養護老人ホーム 萩の風サテライト
- ・駄菓子屋「かみふうせん」
- ・ライフの図書館
- ・子ども食堂「おかえり」

上飯田キャンパス

- ・萩の風居宅介護支援センター
- ・萩の風ヘルパーステーション

沖野キャンパス

- ・萩の風就労支援センター(就労継続支援B型)

霞目キャンパス

- 2021年度完成予定
- ・カフェ(就労継続支援A型)
- ・職員用シェアハウス

ライフの学校 みんなの畑^(仮)

- 2021年度開始予定
- ・農福連携地(就労継続支援B型)

所在地 | 宮城県仙台市若林区上飯田字天神1-1

TEL | 022-289-8555

<https://gakkou.life>



植物

四季を通じて、視覚や味覚など五感で楽しめる庭の植物たち。赤い花が咲くサツキや小さな葉がついたツゲなどの庭木、黄色い花をつけるウマゴヤシのような雑草など、この地域で見慣れた植物や花々も「嫁入り」しています。2階の窓からは、鳥が木の実をついばむ姿やさえずりを楽しめます。

春の花と果実

ソメイヨシノ
オオシマザクラ
モモ、ビワ

夏の花と果実

アジサイ、カリン
ブルーベリー
ゴーヤ、グミ

秋の花と果実

カキ、イチジク
リンゴ、ポーポー

冬の花と果実

ツバキ、ユズ
レモン

風太（ふうた）

駄菓子屋の看板猫。仙台市太白区の動物病院に保護されていました。「ライフの学校」で暮らしている方と一緒に、店番をすることもあります。

巨大柱と梁（はり）

庭の南側にある長いベンチは、もともとは戦後に設置された電信柱でした。電信柱は沖野の石蔵の柱となり、役目を終えてこの庭にやってきました。長さ8mと巨大だったので、6人がかりで運んできました。同じ蔵に使われていたほかの柱や梁も、ここでベンチや遊具になりました。

大きな臼（うす）

メダカの水そうは、沖野の蔵に眠っていた大きな臼です。

座れる臼

「ライフの学校」の菅原施設長の実家、栗原市旧文字村から届きました。施設長が20歳のときまで餅つきに使われていたものです。

ケーブルドラム

ケーブルを巻きつける木製のドラム。役目を終えたものを電気工事会社から譲り受け、テーブルとして使っています。

赤い椅子

ここに入居していた方が自宅で愛用していた椅子。「ライフの学校」では入居のときに、使い慣れていたり、大事にしていたりする家具と一緒に「嫁入り」してもらっています。

雄勝石（おがついし）

丘のふもとにある黒いベンチは黒い雄勝石でできています。ここに入居するご夫婦が営んでいた建設会社からやってきました。雄勝石は、かつて石巻市雄勝町でとれ、その耐水性から習字の硯（すずり）や屋根材として重宝されてきた貴重な石です。夫婦に見守られながら運ばれました。

大きな庭石

丘に使われている丸い石は、雄勝石と同じ解体業者の資材置場にありました。ご近所の家や2011年の東日本大震災の瓦礫（がれき）など、さまざまな産地の石が混ざっています。

山石（やまいし）

住宅の解体現場から届いた山石は、広瀬川でとられました。いまは採掘が禁止されているため、手に入れるのが難しいものです。小上がりベンチの石積みなどに使われています。

鬼瓦（おにがわら）

1978年の宮城県沖地震で崩れ落ちた屋根瓦。秋保石と同じご近所の方にありました。井戸の下に埋まっていたり、小上がりベンチの石積みにも隠れていたり、木や雄勝石のベンチの足になったりしています。

最上石（もがみいし）

小上がりベンチの石積みの一部使われている、赤みがかった最上石は、山形県最上町が産地です。

秋保石（あきういし）

炊き出し炉や石のベンチに使われているのは、仙台市太白区秋保でとれる秋保石。ご近所で堀に使われていましたが、1978年の宮城県沖地震で崩れ、そのまま庭で眠っていたもの。耐火性や防水性、耐久性に優れ、そして軽いことから、かつて仙台では建材としてよく使われていました。

小上がりベンチ

小上がりベンチは、いろいろな方向を向いて座れるよう、なだらかな曲線を描いています。表面に埋め込まれたきらきら輝く青いガラスは、空き瓶などを溶かした再生ガラス。小さなテーブルにはスマートフォンが充電できるコンセントもあります。

井戸のポンプ

災害で断水が起こったときのために、ポンプ式の井戸を掘りました。ポンプは、仙台市内の家やお寺で使われていたポンプの部品を寄せ集め、再利用したものです。沖野の井戸掘り屋さんが持ってきてくれました。

畑の野菜と果物

トマト、ナス、キュウリ
ジャガイモ、スイカ
イチゴ

敷地面積：550㎡

設計：富永美保＋林 恭正 (tomito architecture)

基本設計参画：伊藤孝仁